

# ガイドライン2013の構成(案)について

---

平成24年10月18日

# ガイドライン2013の作成方針(案)について①

## ◆名称

- 「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2013～小学校版～」
- 「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン(手引書)2013～中学校・特別支援学校版～」

## ◆作成目的

ガイドライン2011及びガイドライン2012と同様に、学校や教育委員会等の教育関係者が、学校現場でのICT環境の構築・運用・利活用をする際の参考になるとともに、地方自治体の導入のきっかけとなるように、実証事例を踏まえた教育ICTのポイントや留意点をまとめたガイドライン(手引書)を作成する。

## ◆主な新規追加部分

### 〈小学校版〉

- ・ICT環境導入・運用に係るコストを踏まえた段階的な方策
- ・ICT環境に関する技術的条件の整理
- ・学習履歴の記録と活用
- ・既存環境とデジタルの連携

### 〈中学校・特別支援学校版〉

- ・実証2年目に伴う運用面の課題(年度更新、長期休暇等)
- ・中学校におけるICT利活用の取り組み
- ・特別支援学校におけるICT利活用の取り組み
- ・災害時のICT環境活用方策

## ガイドライン2013の作成方針(案)について②

- ガイドライン2013は、「小学校」版及び「中学校・特別支援学校」版の2冊を作成
- 各々のページ数は、ガイドライン2012程度(100ページ程度)を想定

### <小学校版>

- ・3年間の実証研究の総まとめ資料として、小学校現場におけるICT環境の構築、運用、利活用に関し、ガイドライン2011及びガイドライン2012の内容に加え、平成24年度の実証テーマに基づいて記載
- ・ICT機器及びネットワーク環境に関する技術的要件を整理し、その概要を記載

### <中学校・特別支援学校版>

- ・実証研究2年目であることから、特にICT環境の運用面及び利活用面や独自テーマに基づく取り組みについて、中学校及び特別支援学校それぞれの特質を踏まえてとりまとめる。
  - ・必要に応じて、ガイドライン2011及びガイドライン2012の関連ページを記載
- (※最終年度に、3年間の実証研究の成果を一冊のガイドラインにとりまとめることを想定)

# ガイドライン2013(小学校版)の全体構成(案)

## 目次(大項目)

- はじめに
- 第1章 ICT環境の導入と構築
- 第2章 ICT環境の運用
- 第3章 ICT環境の導入・運用に係るコストを踏まえた段階的な方策
- 第4章 ICT機器及びネットワーク環境に関する技術的要件等の整理
- 第5章 ICTの特徴的な利活用
- 第6章 実証校における取り組み事例と実証事業の成果
- 終わりに
- 用語集

# ガイドライン2013(小学校版)の各章の構成(案)について

## ■ 第1章 ICT環境の導入と構築

ガイドライン2011の内容を踏まえ、ICT環境の導入部分におけるポイントと事例を掲載

- 1.1 小学校におけるICT環境構築の特徴
- 1.2 ICT環境導入の検討
- 1.3 ICT環境構築のための工事
- 1.4 ICT環境の設定
  - ①タブレットPCの設定
  - ②インタラクティブ・ホワイト・ボードの設定
  - ③校内ネットワークの設定
  - ④校外サーバ(協働教育プラットフォーム)の設定
  - ⑤アプリケーション・教育コンテンツの整備

## ■ 第2章 ICT環境の運用

ガイドライン2011及びガイドライン2012を参考に、3年間の実証経験を踏まえ、運用面における留意点と事例を掲載

- 2.1 ICT環境の運用
  - 2.2 年度末及び年度始めにおけるICT環境の設定
  - 2.3 ICT支援員の業務(業務の効率化、高度化)
  - 2.4 教員、児童、保護者への支援
- ⇒ 現場で発生したトラブル及びその予防・解決方策等を掲載
- ⇒ 年度更新作業のスケジュールや各機器に必要となる設定変更
- ⇒ 導入直後、運用初期、運用安定期等のフェーズに応じて変化する、ICT支援員の業務やスキルセットを事例より分類
- ⇒ ICT環境を効果的に活用するために、教員等学校に関わる幅広い関係者に対して実施した対応事例等を掲載

# ガイドライン2013(小学校版)の各章の構成(案)について

## ■ 第3章 ICT環境の導入・運用に係るコストを踏まえた段階的な方策

コストを抑制する観点から、ICT環境を段階的に構築し、効率的に運用していくためのポイントを掲載

- 3.1 ICT環境の段階的な構築パターン ⇒ 端末台数、クラウド、代替機器の活用(デジタルテレビ等)等のカテゴリ別に、段階的に環境を構築するパターンを紹介
- 3.2 ICT環境の構築パターンに応じた留意事項
- 3.3 効率的な運用方策 ⇒ 電気代の節約、端末故障防止策(メンテナンスルール作り)、保守契約の形態、教材の自作等、コストを抑えて効率的に運用するための方策を分析

## ■ 第4章 ICT機器及びネットワーク環境に関する技術的要件等の整理

学校にICT環境を導入する際の参考となるよう、技術的要件を整理する

### 4.1 ICT機器の技術的要件

- ① タブレットPCの技術的要件
- ② IWBの技術的要件

⇒ 実証校、絆プロジェクト対象校に対する調査票に基づく調査及び、関係事業者へのヒアリングにより、必要機能を整理

### 4.2 ネットワーク環境の技術的要件

- ① ネットワーク回線速度の技術的要件
- ② クラウドの技術的要件
- ③ 無線LANの技術的要件
- ④ セキュリティ対策の技術的要件

⇒ 東西請負事業者提案書及び業者ヒアリングから分析。必要に応じ、実証校や関係自治体へのヒアリングも実施

# ガイドライン2013(小学校版)の各章の構成(案)について

## ■ 第5章 ICTの特徴的な利活用

利活用面における実証研究の成果から、活用の場面ごとに留意点と実践事例を掲載。なお、5.1及び5.2は本年度の新たな実証テーマ

- 5.1 学習履歴の記録と活用 ⇒ ICTを活用し、児童一人一人の学習履歴を効果的に記録・活用する方策等について掲載
- 5.2 既存環境とデジタルの連携 ⇒ 紙や黒板等、ICT機器導入以前の既存環境との連携方策について掲載
- 5.3 ICTを活用した学校と家庭との連携(タブレットPCの持ち帰り)
- 5.4 災害時における学校ICT環境の活用

## ■ 第6章 実証校における取り組み事例と実証事業の成果

ガイドライン2011及びガイドライン2012、本年度の調査研究等を元に、実証校における取り組み事例(3年間の総まとめ)と本事業における成果を記載する

- 6.1 実証校における取り組み事例 ⇒協働教育(学習)・個別教育(学習)事例を中心に整理
- 6.2 実証事業のまとめとその他の成果 ⇒アンケート結果や、教員・保護者等の声を整理

## ■ 用語集

# ガイドライン2013(中学校・特別支援学校版)の全体構成(案)

## 目次(大項目)

- はじめに
- 第1章 中学校におけるICT環境の構築と運用
- 第2章 特別支援学校におけるICT環境の構築と運用
- 第3章 中学校におけるICTの特徴的な利活用
- 第4章 特別支援学校におけるICTの利活用に関する特徴的な取り組み
- 第5章 災害時における学校ICT環境の活用
- 第6章 実証校における取り組み事例と実証事業の成果
- 終わりに
- 用語集

# ガイドライン2013(中学校・特別支援学校版)の各章の構成(案)について

## ■ 第1章 中学校におけるICT環境の構築と運用

今年度の実証で行われた事項(年度更新、機器や運用の改善点等)を中心に、小学校との相違に留意してポイントと事例を掲載

- 1.1 中学校におけるICT環境構築の特徴
- 1.2 ICT環境導入の検討
- 1.3 ICT環境構築のための工事
- 1.4 年度末及び年度始めにおけるICT環境の設定
- 1.5 ICT環境の運用
- 1.6 ICT支援員の業務(業務の効率化、高度化)
- 1.7 教員、児童、保護者への支援

## ■ 第2章 特別支援学校におけるICT環境の構築と運用

主に今年度の実証で得られた経験を元に、特別支援学校におけるICT環境に係る留意点や事例を掲載

- 2.1 特別支援学校の特徴を踏まえた留意点
- 2.2 特別支援学校におけるICT支援員の業務

# ガイドライン2013(中学校・特別支援学校版)の各章の構成(案)について

## ■ 第3章 中学校におけるICTの特徴的な利活用

独自テーマに基づいた特徴的な取り組み(一貫教育における活用方策、タブレットPCの持ち帰り等)について、取り組みの内容や留意点を記載

## ■ 第4章 特別支援学校におけるICTの利活用に関する特徴的な取り組み

特別支援学校における取り組み(院内学級との双方向通信、入力機器開発等)を、具体例に基づいて記載

## ■ 第5章 災害時におけるICT環境の活用

災害時における学校ICT環境の活用について、実践上の留意点と本年度の実践事例を掲載

## ■ 第6章 実証校における取り組み事例と実証事業の成果

2年間の実績を踏まえ、実証校における取り組み事例と本事業における成果を記載

### 6.1 実証校における取り組み事例

⇒協働教育(学習)・個別教育(学習)事例を中心に整理

### 6.2 実証事業のまとめとその他の成果

⇒アンケート結果や、教員・保護者等の声を整理

## ■ 用語集

# 映像資料の作成に関して

○「普及啓発映像資料」及び「記録映像資料」の2種類を作成

## ＜普及啓発映像資料＞（約5分程度）

- ・ICTを利活用した「21世紀にふさわしい学校教育」の実現のための普及啓発を目的とした映像資料
- ・視聴対象者は、教育関係者のみならず、本分野の知見を持たない人も想定
- ・視聴者の興味関心を引き付ける内容・構成とする。
- ・ウェブサイトへの掲載を予定

## ＜記録映像資料＞（約60分程度）

- ・実証校の取り組みをとりまとめた記録映像資料
- ・ICT環境を導入済みまたは検討中の教育関係者・自治体関係者が、実際の活用方法をイメージするための参考資料
- ・ICT環境の利活用場面についてはシーン（準備、学習場面、片付け）別に編集